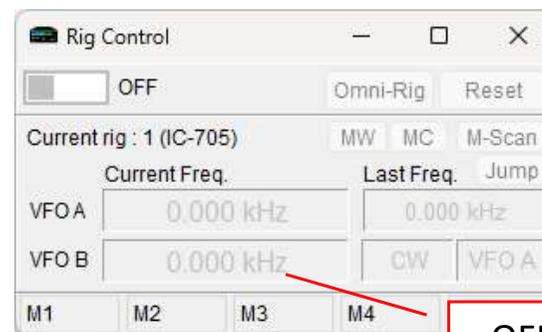
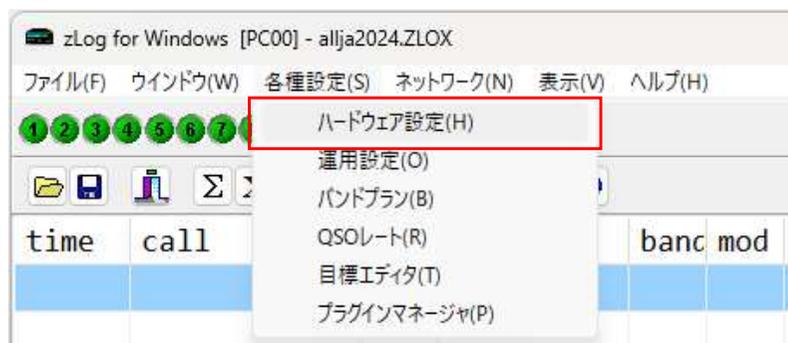


zLog リグコントロール 設定ガイド

対応バージョン:V2.9.1.0~

V2.9でのリグコントロール

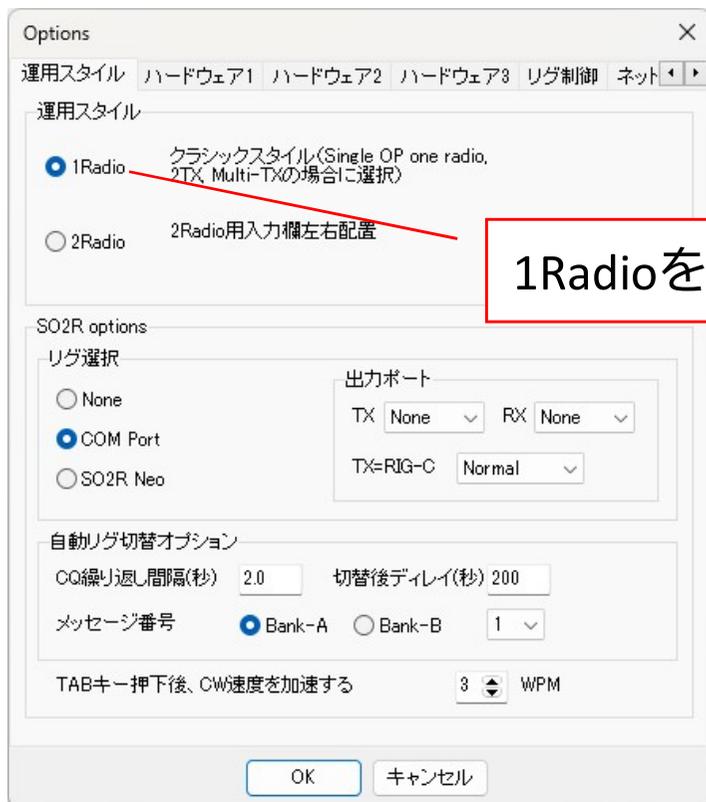
メインウィンドウ「各種設定」メニューの「オプション」を「ハードウェア設定」と「運用設定」に分けました。「ハードウェア設定」時はリグ制御とCW送信はできません。



OFFになる

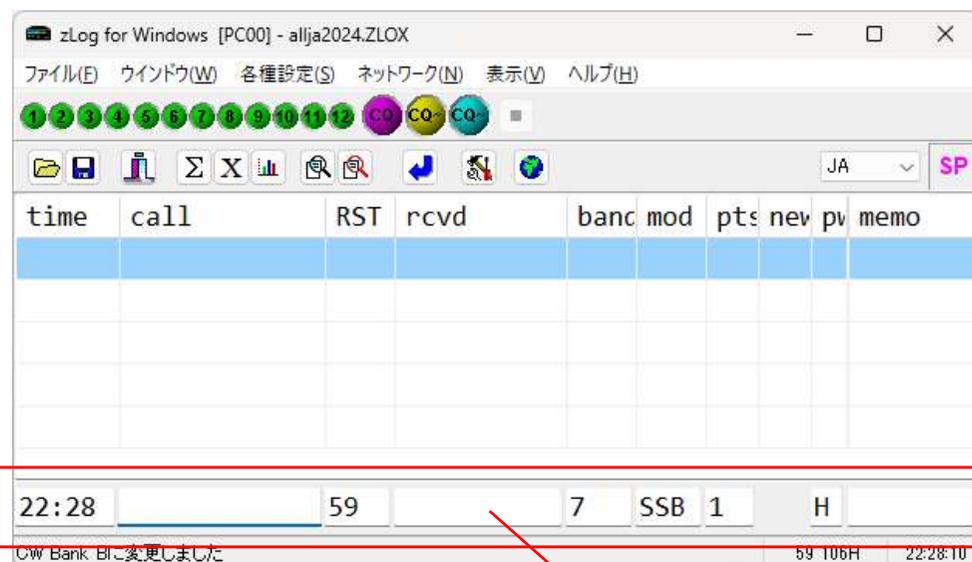
運用スタイルの選択

STEP1 – 運用スタイルの選択(1)



リグが1台の場合はこちらを選択します。
2TXやMulti-TXの場合もこちらです。
1PC – 1RIGになる場合です。
※STEP2-リグ設定を参照して下さい。

※SHIFT+X押下でRIG-A→RIG-B→RIG-Aと順に切り替わります。



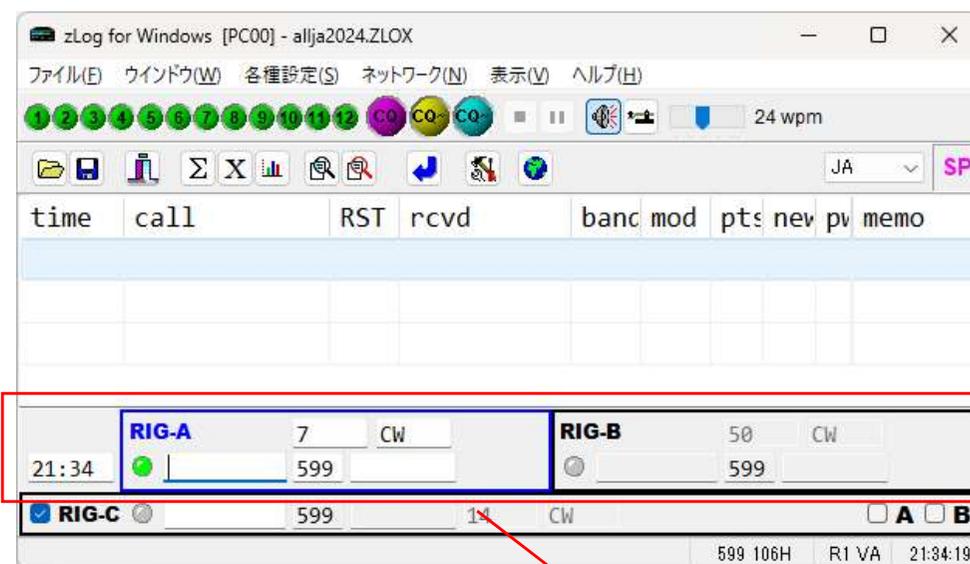
従来通り

STEP1 – 運用スタイルの選択(2)



二つのリグを使用する際はこちらを選択します。
1PC - 2リグの組み合わせです。
RIG-A/RIG-Bはリグ制御を行うリグ。
RIG-Cはリグ制御なしのリグです。

※SHIFT+X押下でRIG-A→RIG-B→RIG-C→RIG-Aと順に切り替わります。



SO2Rスタイル

STEP1 – 運用スタイルの選択(3)

zLogの2Radioは、RIG-A,RIG-Bがリグコントロールを行うリグ、RIG-Cはリグコントロールを行わないリグです。(V/Uのモバイル機など)SHIFT+Xの操作で、操作するリグを切り替えます。受信リグの切替はSHIFT+C、送信リグの切替はSHIFT+Vです。

青枠が受信リグです。

ランプ点灯が送信リグです。

チェックONで、SHIFT+X操作時にトグルする対象になります

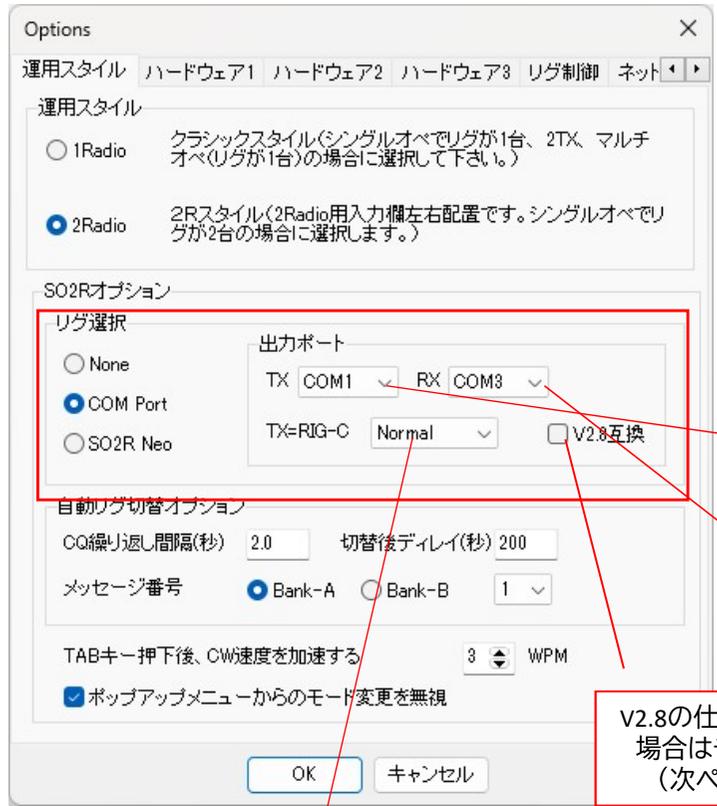


RIG-CをRIG-AとRIG-Bのどちらに組み合わせるかを設定します。両方ON又は両方OFF時は、RIG-A→RIG-B→RIG-Cの順にトグルします。AをチェックONとした場合は、RIG-A→RIG-C→RIG-Aの順にトグルします。BをチェックONとした場合は、RIG-B→RIG-C→RIG-Bの順にトグルします。

STEP1 – 運用スタイルの選択(4)

2Radio構成の場合、どのリグが選択されているかの信号を出力する方法を選択します。この信号に従って、切替BOXを駆動します。

- None・・・出力なし
- COMポート・・・COMポートのRTS/DTR信号に出力
- SO2R Neo・・・SO2R Neoにコマンド送信



TX

選択	DTR	RTS
RIG-A	OFF	OFF
RIG-B	ON	OFF
RIG-C	OFF	ON

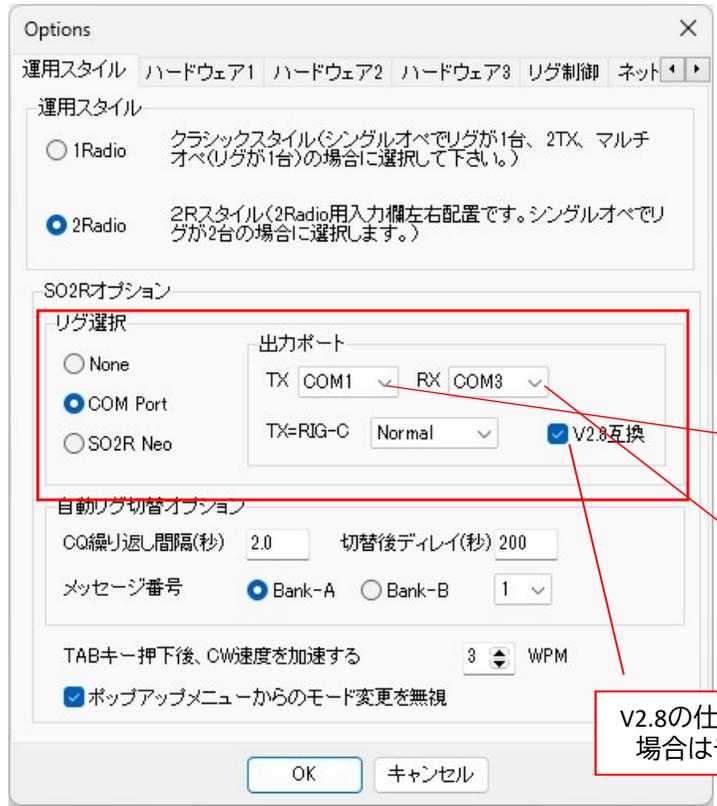
RX

選択	RIG番号	DTR	RTS
RIG-A	1,3	OFF	
	2,4	ON	
RIG-B	1,3		OFF
	2,4		ON
RIG-C	RIG-Aが1,3	OFF	ON
	RIG-Aが2,4	ON	ON

RIG-C選択時の出力信号を設定できます。(右上のTX表参照)
 Normal・・・RIG-C用の出力
 RIG-A・・・RIG-Aと同じ出力
 RIG-B・・・RIG-Bと同じ出力

V2.8の仕様にする場合はチェック(次ページ)

STEP1 – 運用スタイルの選択(5)



V2.8仕様の場合のCOMポートへの信号出力は下表の通りです。

TX

選択	DTR	RTS
RIG-A	ON	OFF
RIG-B	OFF	ON
RIG-C	ON	ON

RX

選択	DTR	RTS
RIG-A	ON	OFF
RIG-B	OFF	ON
RIG-C	ON	ON

V2.8の仕様にする場合はチェック

1 Radio運用

クラシックスタイル

シングルオペでリグが1台、2TX、マルチオペ(リグが1台)の場合

STEP2 - リグ設定

1Radioの場合は、下図の様にRIG-1,RIG-2,RIG-5が入力可能です。

従来と同様に入力します

RIG	リグ制御	通信速度	リグ	キーイング	XVT
RIG-1	COM5	38400	FT-2000	USBIF4	<input type="checkbox"/>
RIG-2	COM3	38400	TS-570	USBIF4	<input type="checkbox"/>
RIG-3	None	19200	IC-705	RIG	<input type="checkbox"/>
RIG-4	None	9600	None	None	<input type="checkbox"/>
RIG-5				USBIF4	<input type="checkbox"/>

RIG-5は従来のVirtualRIGに相当します

STEP3 - バンド毎のリグ割当

1Radio時、RIG-AにはRIG-1, RIG-BにはRIG-2が固定で割り当てられます。これで従来通りの運用が可能です。

RIG-Aへのリグ割当			RIG-Bへのリグ割当		
バンド	リグ	アンテナ	バンド	リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-1	None	1.9 MHz	RIG-2	None
3.5 MHz	RIG-1	ANT2	3.5 MHz	RIG-2	None
7 MHz	RIG-1	ANT1	7 MHz	RIG-2	None
10 MHz	RIG-1	None	10 MHz	RIG-2	None
14 MHz	RIG-1	ANT2	14 MHz	RIG-2	None
18 MHz	RIG-1	None	18 MHz	RIG-2	None
21 MHz	RIG-1	ANT2	21 MHz	RIG-2	None
24 MHz	RIG-1	None	24 MHz	RIG-2	None
28 MHz	RIG-1	ANT2	28 MHz	RIG-2	None
50 MHz	RIG-1	ANT2	50 MHz	RIG-2	None
144 MHz	RIG-1	None	144 MHz	RIG-2	None
430 MHz	RIG-1	None	430 MHz	RIG-2	None
1200 MHz	RIG-1	None	1200 MHz	RIG-2	None
2400 MHz	RIG-1	None	2400 MHz	RIG-2	None
5600 MHz	RIG-1	None	5600 MHz	RIG-2	None
10 G & up	RIG-1	None	10 G & up	RIG-2	None

リグ欄は変更できません

アンテナ欄は変更可能です

入力を簡便に行うために、以降を全て同じ内容にできます。

zLog for Windows

! 以降のバンドも同じ設定に変更しますか?

はい(Y) いいえ(N)

アンテナ欄は変更可能です

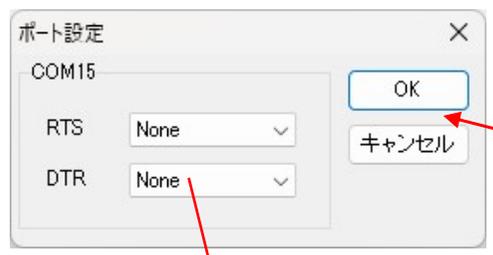
2Radio運用

2Rスタイル

2Radio用入力欄左右配置です。シングルオペでリグが2台の場合

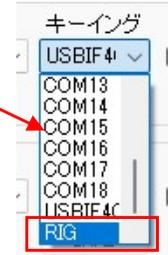
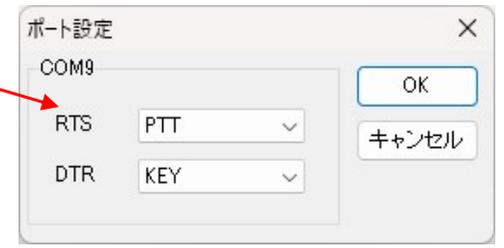
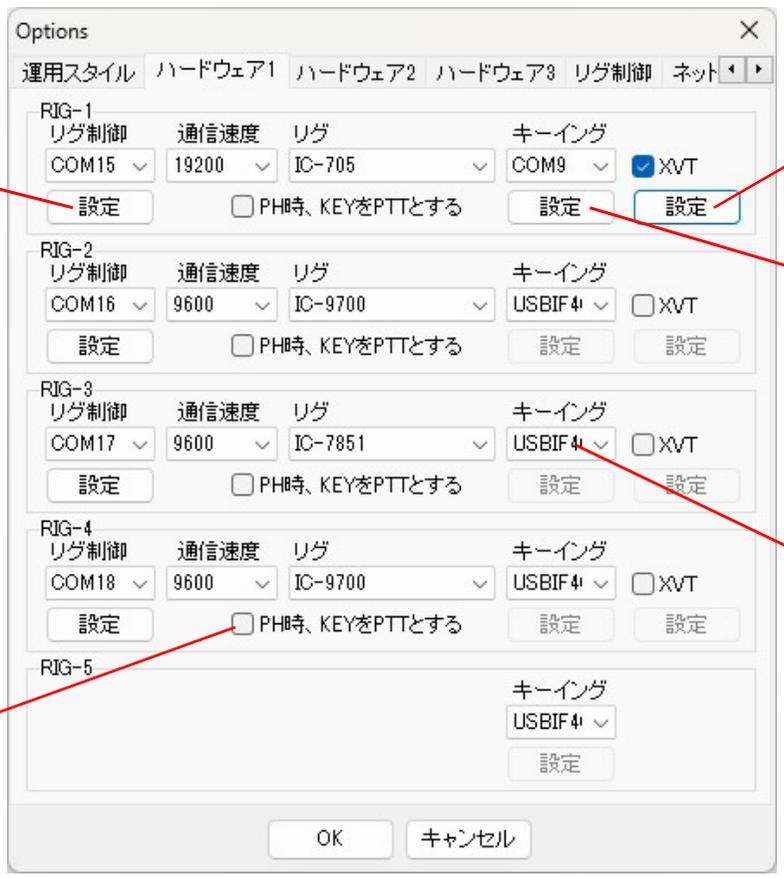
STEP2 - リグ設定(1)

「ハードウェア1」タブでは接続するリグの情報を設定します。
2Radio時、リグは4台まで設定可能です。



#518 信号線の使用
目的を選択します。
None
PTT
KEY
常時ON
常時OFF
ハンドシェイク

#539 PHONEのPTTがCWと
違う場合にONにします。



#437 RIGのキーイング機能を利用するには
「RIG」を選択します。

STEP2 - リグ設定(2)

リグが1台や2台の場合はRIG-1から順に入力して下さい。

リグが2台の場合は、
このようにRIG-1とRIG-2
に入力します。

The screenshot shows the 'Options' dialog box with the 'リグ制御' (Rig Control) tab selected. The dialog is divided into sections for RIG-1 through RIG-5. The RIG-1 and RIG-2 sections are highlighted with a red box. The RIG-1 section is configured with COM15, 19200 baud rate, IC-705 rig, and USBIF4 keying. The RIG-2 section is configured with COM16, 9600 baud rate, IC-9700 rig, and USBIF4 keying. The RIG-3 and RIG-4 sections are currently set to 'None'. The RIG-5 section is partially visible and set to USBIF4 keying. At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

Rig ID	リグ制御	通信速度	リグ	キーイング
RIG-1	COM15	19200	IC-705	USBIF4
RIG-2	COM16	9600	IC-9700	USBIF4
RIG-3	None	9600	None	None
RIG-4	None	9600	None	None
RIG-5				USBIF4

STEP3 - バンド毎のリグ割当(1)

2Radio時、「ハードウェア2」タブではバンド毎に使用するリグを割り当てます。
 SHIFT+B押下時、バンドスコープからジャンプする際に、ここで設定したリグを自動的に選択し、
 周波数／モードを設定します。
 ※フルに利用できるのはFDやACAGなど、1.9M-UHFまで使用するコンテストです。

The screenshot shows the 'Options' dialog box with the 'ハードウェア2' (Hardware 2) tab selected. It displays two columns of settings: 'RIG-Aへのリグ割当' (Rig assignment for RIG-A) and 'RIG-Bへのリグ割当' (Rig assignment for RIG-B). Each column has a table with frequency bands and antenna options.

RIG-Aへのリグ割当			RIG-Bへのリグ割当		
周波数	リグ	アンテナ	周波数	リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-1	none	1.9 MHz	RIG-3	none
3.5 MHz	RIG-1	ANT2	3.5 MHz	RIG-3	none
7 MHz	RIG-1	ANT1	7 MHz	RIG-3	none
10 MHz	RIG-1	none	10 MHz	RIG-3	none
14 MHz	RIG-1	ANT2	14 MHz	RIG-3	none
18 MHz	RIG-1	none	18 MHz	RIG-3	none
21 MHz	RIG-1	ANT2	21 MHz	RIG-3	none
24 MHz	RIG-1	none	24 MHz	RIG-3	none
28 MHz	RIG-1	ANT2	28 MHz	RIG-3	none
50 MHz	RIG-1	ANT2	50 MHz	RIG-3	none
144 MHz	RIG-2	none	144 MHz	RIG-4	none
430 MHz	RIG-2	none	430 MHz	RIG-4	none
1200 MHz	RIG-2	none	1200 MHz	RIG-4	none
2400 MHz	RIG-2	none	2400 MHz	RIG-4	none
5600 MHz	RIG-2	none	5600 MHz	RIG-4	none
10 G & up	RIG-2	none	10 G & up	RIG-4	none

「ハードウェア1」タブで設定したリグを選択します。

RIG-1に設定したHFのリグ

RIG-2に設定したV/Uのリグ

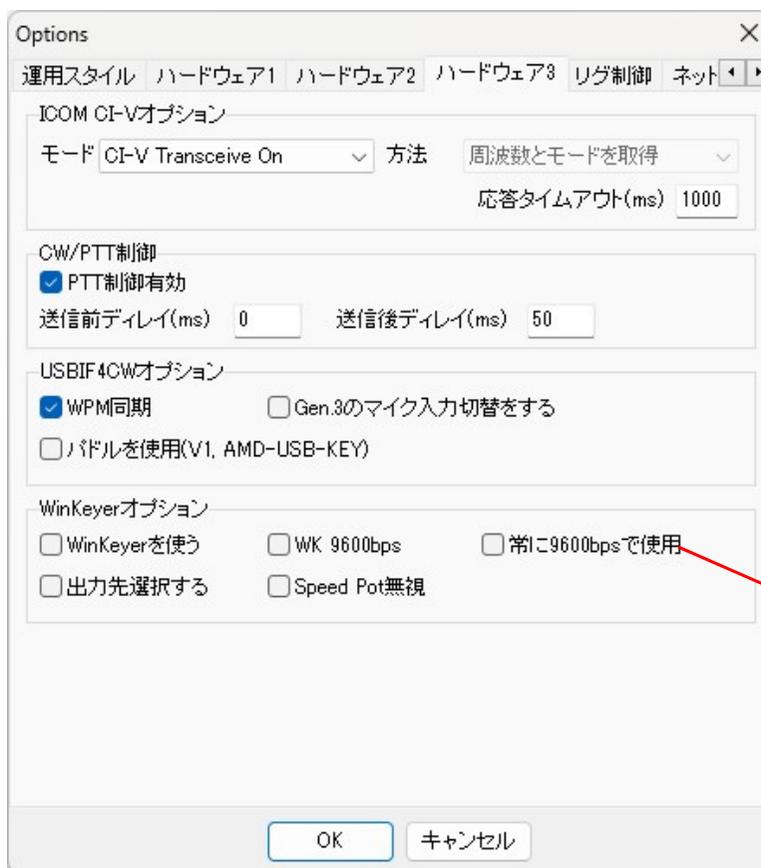
入力を簡便に行うために、以降を全て同じ内容にできます。

The dialog box contains a yellow warning icon and the text: '以降のバンドも同じ設定に変更しますか?' (Do you want to change the settings for subsequent bands to the same settings?). There are two buttons: 'はい(Y)' (Yes) and 'いいえ(N)' (No).

1R/2R共通

STEP4 - 各種追加設定

「ハードウェア3」タブでは使用するハードウェア毎の追加項目の設定を行います。
設定内容は従来通りです。



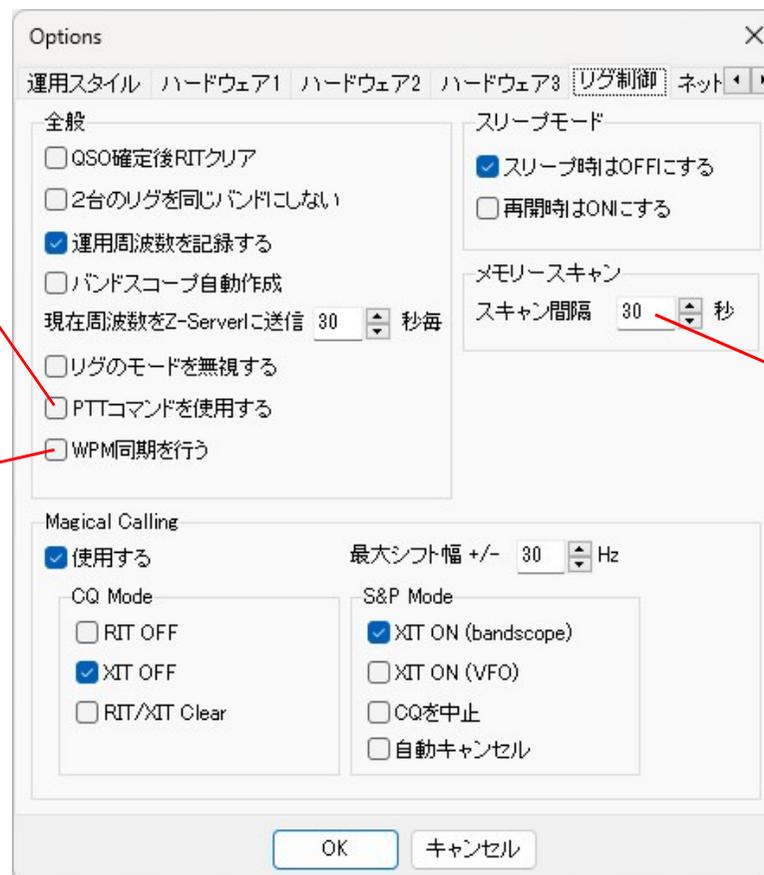
K3NG Arduino CW Keyerを使用
する場合で9600bps固定と
なっている時に選択します。

STEP5 – リグ制御オプション

「リグ制御」タブではリグ制御について追加の設定を行います。
内容については従来通りです。

#571 リグコマンドでPTT制御
を行う場合にONにします

#589 リグとWPM同期を
行う場合にONにします



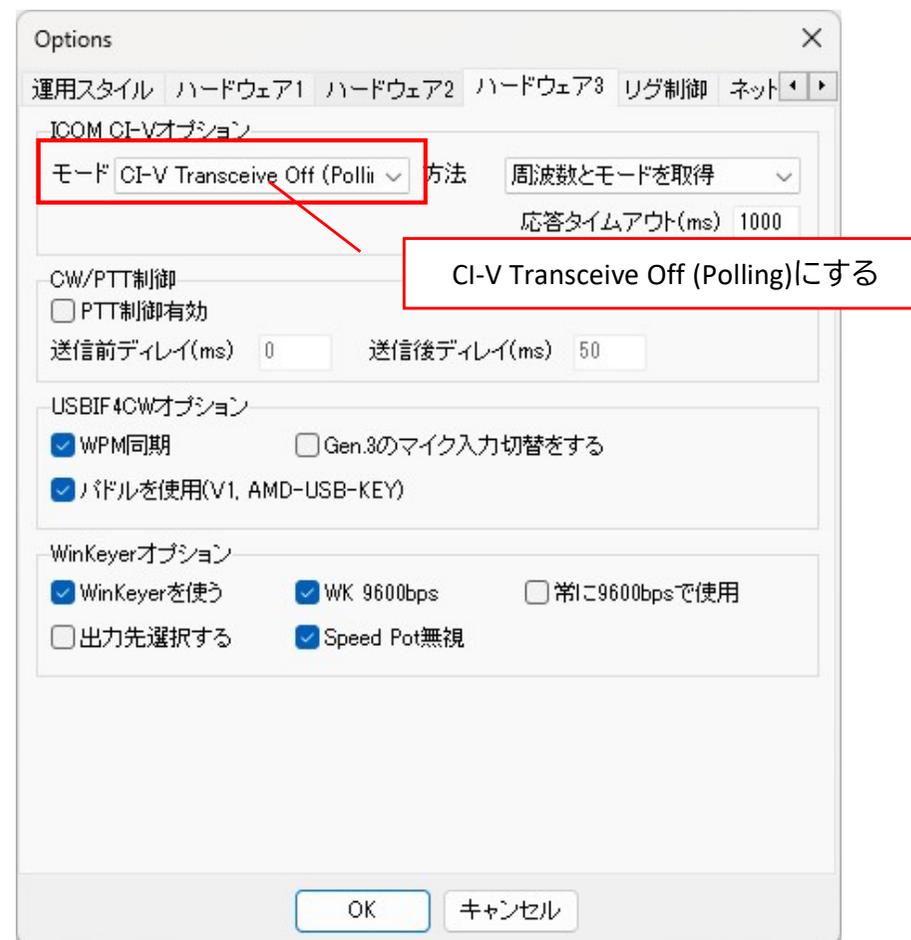
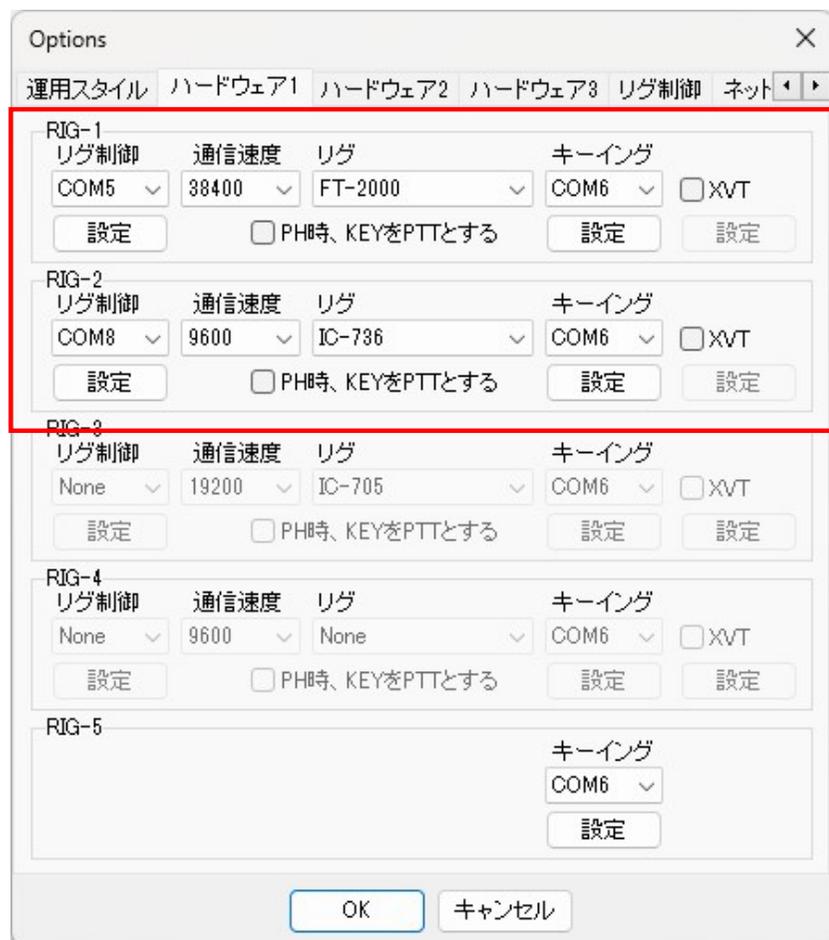
#525 メモリスキャン間隔を変更します

メモリースキャン

現在使用中のリグでは無い場合、バックグラウンドで順にメモリーした周波数をスキャンする機能です。

設定1

RIG-1とRIG-2を使用し、RIG-2でメモリスキャンを行う場合の設定例です。



設定2

- スキャンする周波数をメモリーします。
 - RIG-2で周波数を合わせて、[MW]をクリック
 - M1～M5を選択する
 - クリアするには[MC]をクリック

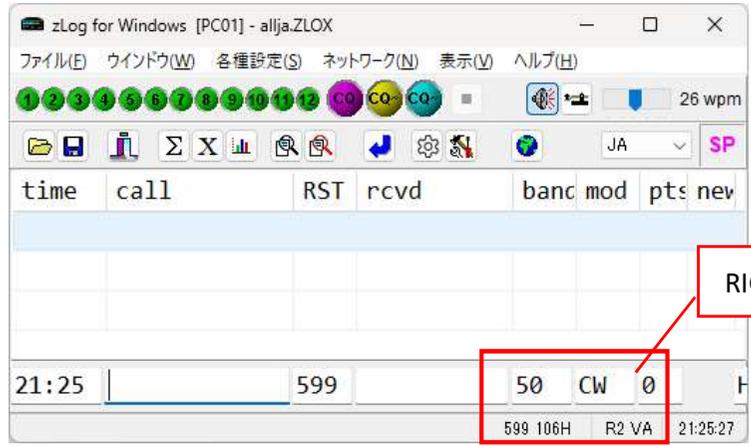


設定3

メインウィンドウに戻り、SHIFT+XでRIG-1に変更。



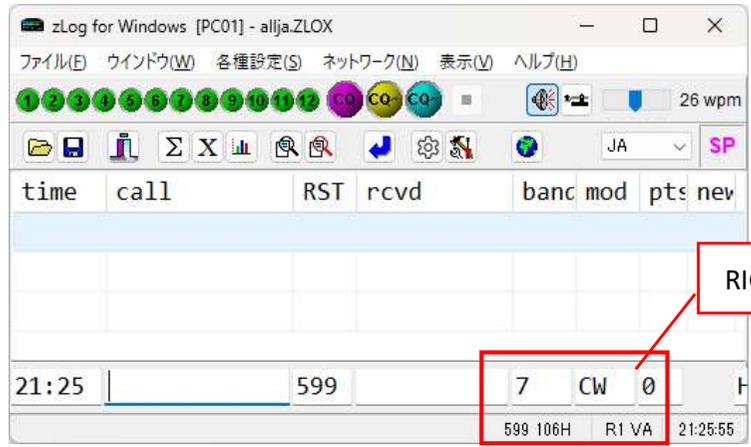
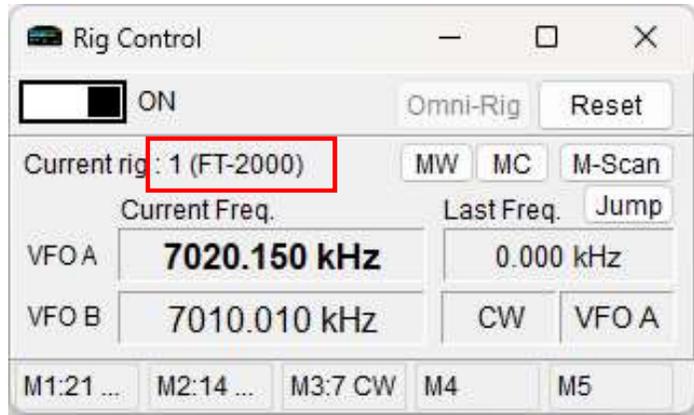
[M-Scan]を押下



RIG-2を使用中



SHIFT+Xを押す。



RIG-1を使用中

RIG-1が表になると、裏でRIG-2のメモリスキャンを開始します。